

[様式第3号]

資料提供年月日	平成27年11月19日	
問い合わせ先	課名	交通政策課
	電話	直通 803-1374 内線 3620
担当者	職名・氏名	課長 林 恭生
	職名・氏名	係長 是友修二

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

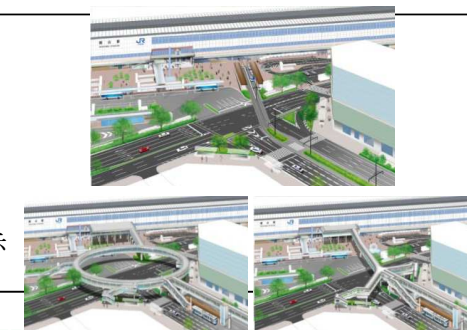
- 1 件 名 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れについて
- 2 内 容 第4回の「路面電車岡山駅前広場乗り入れ計画案調査検討会」において市が提示する計画案を発表する。
- 3 添 付 資 料 路面電車の岡山駅前広場乗り入れ検討概要

路面電車の岡山駅前広場乗り入れ検討概要<検討フロー>

- 路面電車の岡山駅前広場乗り入れについては、昨年度より、公共交通の利便性向上と中心市街地の回遊性向上を目的に検討を行ってきた。
- 検討にあたっては、交通処理や地下街への影響などの課題が考えられたため、平面乗り入れ案とともに、高架乗り入れ案、地下乗り入れ案、さらに歩行者デッキ案についても併せて検討することとした。
- これまでの検討において、平面乗り入れ、デッキ直線形、デッキ円形の3類型にまで計画案を絞り込んだ。
- 3類型について具体の協議を行うため、関係機関への意見照会を行い、技術的課題が提示された。
- まずは、平面乗り入れ案について、その可能性の検討を行った。
- 検討の結果、平面乗り入れ案の修正を行った上で、計画案の提示を行う。併せて他の案との比較検証を行う。

調査検討会

- 》第1回調査検討会
 - ・「平面乗り入れ案」「高架乗り入れ案」「地下乗り入れ案」「歩行者デッキ案」の4つの検討パターンを説明
- 》第2回調査検討会
 - ・4パターンに対して、一次選定として12案の計画案を提示
- 》第3回調査検討会
 - ・二次選定として、「平面乗り入れ（1案）」「デッキ直線形（3案）」「デッキ円形（1案）」の5案の計画案を提示



関係機関への意見照会

◆平面乗り入れ案

- 》岡山電気軌道株
 - ・現状の運行本数が必要である。
- 》県警
 - ・交差点及び駅前広場の安全対策が必要である。
 - ・駅前交差点の容量低下に伴う渋滞発生が懸念され、周辺交通への影響が大きい。
- 》JR西日本
 - ・歩行者動線等、駅前広場機能の確保をしてほしい。
 - ・地下街店舗を支障しない計画としてほしい。
- 》山陽SC開発株
 - ・店舗面積などの商業環境、安全に支障が無いようにしてほしい。

◆デッキ案

- 》岡山電気軌道株
 - ・西口との整合が図られること、周辺商業施設へ直接降りられるようにすることが本来の目的である。
 - ・電停の延長が減少するため、各種イベント時に電停での待機ができなくなる。
- 》県警
 - ・利用者の滞留は、雑踏事故の危険性が高いため、安全対策が必要である。
- 》JR西日本
 - ・主要施設への案内表記の充実も必要。
 - ・改札のある「さんすて北館」との接続も併せて検討してほしい。
- 》山陽SC開発株
 - ・店舗面積などの商業環境、安全に支障が無いようにしてほしい。

今回の報告内容

平面乗り入れ案における技術的課題に対する検討

岡山電気軌道株、県警との協議

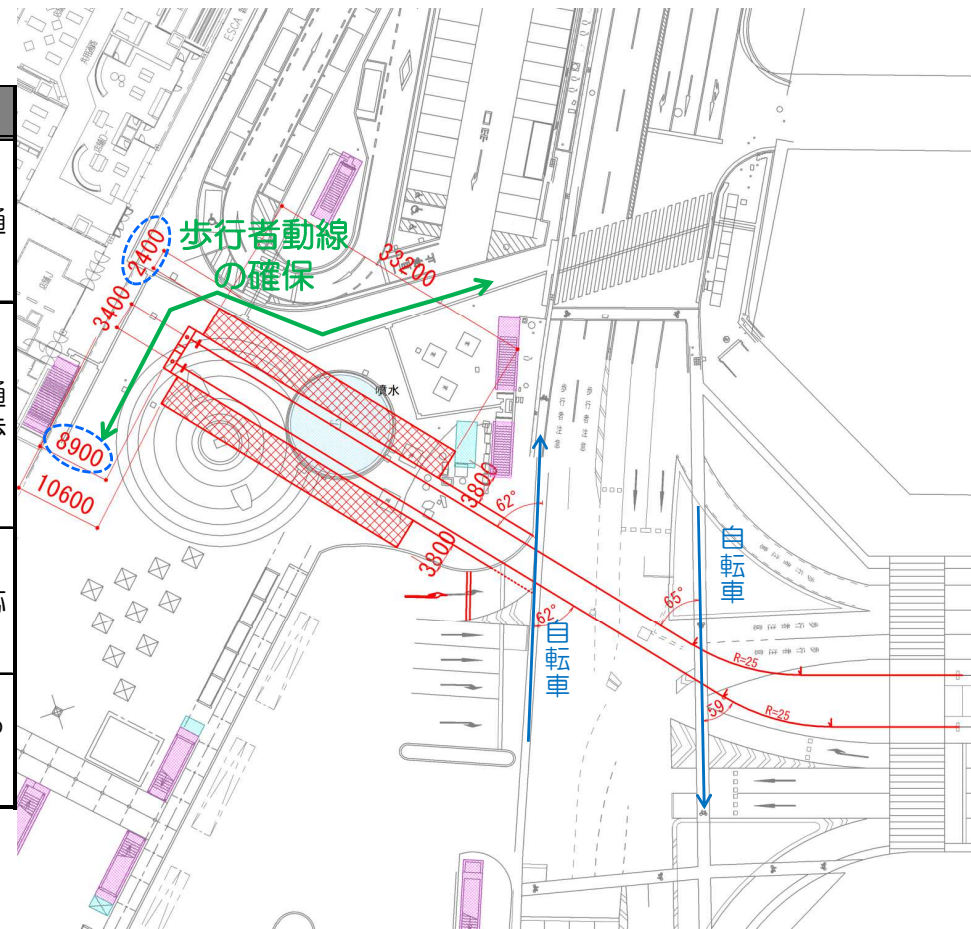
第4回調査検討会

路面電車の岡山駅前広場乗り入れ検討概要<平面乗り入れ案の検討>

1) 平面乗り入れ案に対する課題と対応の整理

- 関係機関への意見照会の結果を踏まえた平面乗り入れ案に対する技術的な課題と、その対応を下記に示す。

項目	課題	対応
ア. 交通(駅前交差点)への影響	・渋滞を発生させない	⇒ 路面電車の専用信号を設定した上で信号パターンを基に計算すると、交通処理は可能
イ. 路面電車・駅前広場の利便性(利用のしやすさ)	・現状の本数維持 ・歩行者動線等、駅前広場機能の確保	⇒ 広場内の路面電車乗り場を3箇所にし、乗り場延長を短くすることで、通常の運行に支障のない運行本数や、歩行者動線、広場面積を確保(P3参照)
ウ. 駅前交差点の安全性	・二輪車・自転車等の安全の確保	⇒ 軌道と道路の交差角は基準値の45°以上をクリアしているが、さらに対応を検討
エ. 地下街店舗への影響	・地下街店舗への影響を少なくする	⇒ 地下街の柱、梁を補強することによって対応可能



意見照会した平面乗り入れ案

路面電車の岡山駅前広場乗り入れ検討概要<比較検証>

2) 計画案の提示

- ・「経済性（事業効果）」、「利便性（乗換）」に優れる以下の平面乗り入れ案について、検討を進めていく。
- ・今後、路面電車の乗り入れも含めた駅前広場全体の構想を検討する中で、路面電車の乗り入れ後のにぎわい・憩い空間の確保や、景観の向上、駅前商店街等の周辺のにぎわいを増すための歩行者動線の確保などの観点から、駅前広場のさらなる魅力向上に向けて検討する。

